2.15（土）17:30start 鎌倉芸術館
全席指定（税込）6,800円 好評発売中
「鎌倉朝日を見た」でチケット送料無料！
※平日 10-18 時／土曜 10-14 時 日祝休み ※未就学児入場不可
申込 Ro-On チケット ☎047-365-9960

錯迷 舞台は鎌倉 発売即重版！
ベストセラー作家堂場瞬一著、一気読み必至の一冊。小学館文庫840円（税別）☎03・3230・5720

きく

▼鎌倉姉妹のコンサート
12月3日10時、鎌倉・深沢学習センター。鎌倉シンフォニーエッタ会員鎌倉五人姉妹のクリスマスコンサート。無料。市生活福祉課☎61・3958

▼東ティモール青年教育支援チャリティコンサート～希望の星に みちびかれ
12月8日13時、カトリック逗子教会。ソプラノ村田望さん、ピアノ鈴木菜穂子さんの演奏でルッツィ「アヴェ・マリア」など。無料。ロロサエの会・鶴岡☎090・1690・8081

▼かまくら名人劇場「赤穂義士伝」
12月15日14時、鎌倉芸術館。人間国宝・一龍齋貞水の「赤穂義士伝」、林家正楽の紙切りなど。3千5百円。☎0120・1192・40

▼ナショナルトラストコンサート
12月15日14時、鎌倉婦人子供会館。ソプラノ村田望さん、テノール小嶋陽太さん、ピアノ鈴木菜穂子さん。英国湖水地方ヘイギリスの絵本作家ビアトリクス・ポター女史を訪ねて。スコットランド民謡、ビートルズ、ミュージカルナンバーまで。2千5百円、中学生以下2千円。鎌倉を愛する音楽の仲間☎090・2207・0031

村田望さん

▼スティールパンナイト
12月7日17時、本郷台のあーすぷらざ。ドラム缶から作った楽器でカリブの演奏。無料。☎045・896・2121

▼清泉女学院音楽部チャリティコンサート
12月21日13時半、カトリック大船教会。こども食堂支援チャリティ。無料。なかよし大船こども食堂☎45・9728

▼ウィンターコンサート
12月26日13時半、鎌倉・今泉さわやかセンター。大船高校合唱部の音楽会。無料。要申込。同センター☎45・4611

▼立川志の彦 初笑い落語独演会
来年1月19日14時、腰越学習センター。無料。1月8日までに往復ハガキで申込。同センター☎33・0712

さんか

▼ふらっと力フェ鎌倉
食を通じて多世代交流。〈特別企画〉12月8日10時、鎌倉女子大学中谷ゼミ・梨本ゼミ×まちの社員食堂。メールで申込。flatcafekamakura@gmail.com大人4百円、子ども2百円。
12月1日味噌屋鎌倉Inoue、6日鎌倉静養館、11日チルドレンズカフェ、ソンベカフェ ミクリスマス会。各16時。大人4百円、子ども2百円。申込不要。渡邉☎0900・5199・1654

▼第255回歌のサロン
12月4日14時、戸塚のさくらプラザ。参加型合唱とミニ演奏会。千円。古川方☎22・2131

▼鎌倉てらこや
▽てらハウス12月7・14・21日10時、大船の千里ビル。午前学び、午後遊び。千円。▽郷土探検14日10時、鎌倉駅西口。寺社を探検。千円。▽陶芸体験15日14時、陶芸家河村喜史さん宅（山崎）。2千円。▽朗読体験22日13時、円覚寺。千円。小中学生と保護者。事務局☎84・9746

▼大船フラワーセンターの催し
▽園長花さんぽ12月8日10時、エントランス集合。無料。▽グリーンレイ・サクソフォンカルテット1日11・14時。ソプラノ、アルト、テナー、バリトンの4種のサックスが集合。無料。▽クリスマスソングをあなたに15日11・14時。ソプラノ、トランペット、ピアノの信仰の道12月9・11日9時半、鎌倉駅西口時計台広場。杉本寺、浄妙寺、報国寺、岩殿寺など。
▽鎌倉野菜の農場訪問10・13・16・19日9時、大船駅南改札デッキ。生産農場訪問と農協連即売所で買物。▽初春鎌倉七福神めぐり1月・7・9・14・15日9時、北鎌倉駅西口交番横。浄智寺、鶴岡八幡宮、宝戒寺など。各5百円（交通費・拝観料別）。申込は1週間前までにハガキかFAXで。鎌倉ガイド協会☎24・6548FAX24・6523

▼北鎌倉・台峯の緑をともに
▽山の手入れ12月14日10時、山ノ内配水池横。▽山歩き15日9時、山ノ内公会堂。北鎌倉の景観を後世に伝える基金・望月方☎45・7420

▼第56回葉山特別見学会
12月20日9時半～14時半。葉山しおさい博物館、山口蓬春記念館、近代美術館葉山を学芸員の解説付きで見学。無料。3日までにハガキかFAXで申込。山口蓬春記念館FAX046・875・6192☎875・6094

▼鎌倉歴史探訪ウォーク
12月22日9時半。七切通し、鎌倉五山を巡る8コース。2日までの申込千円、当日千5百円。日本ウオーキング協会☎03・5256・7855

▼かなぶん連句会
12月21日13時半、神奈川近代文学館。長句と短句を組み合わせて一つの作品に。選者・歌人小島ゆかりさん、作家辻原登さん、俳人長谷川櫂さんのお話も。観覧のみも可。投句要申込。無料。同館☎045・622・6666

▼逗子の魅力を探してウォーキング
来年1月12日12時45分、逗子中学校正門集合。神武寺鷹取山、光照寺、法勝寺、海宝院。5百円。10日から申込。逗子市観光協会☎046・873・1111

季節の心 ㊵
女形役者の素顔
佐伯 仁

●芸を磨き、役に挑む
12月、書店に並ぶ雑誌の新年号。各々に来年へ期待を込め特集を企画。
以前、新年号を飾る「ホープ十五人」のインタビューをA出版社から依頼された。その中に歌舞伎の若き女形役者がいた。
訪ねたのはバラやランの鉢植えが豪華な楽屋。約束の時間をかなり過ぎた頃、「ごめんなさい、遅くなって」と暖簾をあげたのは色白の青年。セーターとスラックスに痩身を包んでいる。手早く楽屋着に着替え、鏡台を背に座ると湯呑みの蓋をとり、一口含む。その指先の動きに女形の〝科〟が息づいている。腕白な少年が今では父が演じたお役を自分も務めるのが「面白い」と語る。父が励んだ同じ〝芸〟を自分も挑める。その歓びが無上の快感だと察した。お役の〝女〟に惚れて演じねば相手の〝立ち役〟は引き立たないとも言う。
舞台の出の時間が迫る。体をくるりと回し鏡台へ向かう。顔から首筋、肩口へと白粉の刷毛が大急ぎで走る。
「おはようございます」と着付けを終えた子役が楽屋口から挨拶する。唇に紅を差す手を止め、会釈し、返す言葉も目も声も横顔も、もうすっかり〝女〟になりきっていた。お歳暮の月の明さを身にまとひ 汀女

購入新図書のリスト抄
鎌倉市中央図書館（10月分）

鎌倉市中央図書館（☎25・2611）は10月に一般254冊、児童書47冊を収蔵した。一般的なものは下記の通り。

▼「潜入ルポamazon帝国」横田増生著　小学館▼「AI時代の「超」発想法」野口悠紀雄著　PHPビジネス新書▼「人生は「2周目」からがおもしろい」—50歳から始める“知的向上感”の育て方」斎藤孝著　青春新書INTELLIGENCE▼「柳田国男—感じたるまゝ」鶴見太郎著　ミネルヴァ日本評伝選

▼「地理×文化×雑学で今が見える世界の国々」かゆみ歴史編集部編著　朝日新聞出版　だからわかるシリーズ▼「GAFAに克つデジタルシフト—経営者のためのデジタル人材革命」針嶺登著　日本経済新聞出版社

▼「感動する説明「すぐできる」型—カリスマ予備校講師が初公開！」犬塚壮志著　PHP研究所▼「老化って言うな！」平松類著　PHP新書

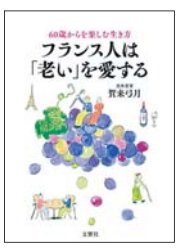
▼「脳が若返る最高の睡眠—寝不足は認知症の最大のリスク」加藤俊徳著　小学館新書▼「家庭でできる、身のまわりの化学物質から家族を守る方法」坂部貢著　PHP研究所▼「湘南幻想美術館—湘南の名画から紡ぐストーリー」太田治子著　かまくら春秋社

▼「超写真論—篠山紀信写真力の秘密」後藤繁雄著　篠山紀信写真　小学館▼「夢見鳥」中村吉右衛門著　日本経済新聞出版社▼「老いの重荷は神の賜物」樹木希林著　集英社▼「澁澤龍彦の記憶」巌谷國士・養老孟司・池内紀・中沢けい・酒井忠康共著　河出書房新社

鎌倉プロモーション フォトコンテスト2020

「つれていきたい鎌倉」をテーマに、鎌倉らしさがあふれた魅力ある作品を募集。
◆応募 特設サイトから投稿（www.kamakura-photo.org/contest/）
◆締切 1月31日◆出品料 無料
◆サイズ 5MB（JPG）以内◆発表 3月下旬頃入賞者にメール通知。入賞作品は同協会ホームページで発表。
◆賞 最優秀賞1点、優秀賞4点、観光賞1点、スマホ賞1点、入選18点。賞品は最優秀賞キヤノンEOS M200・レンズキットなど。
鎌倉市観光協会☎23・3050

サロン発足記念講演会 「フランス人は『老い』を愛する」



12月14日14時、鎌倉文学館で元外交官・賀来弓月氏が「フランス人は『老い』を愛する」の題で講演する。仏人に学ぶ人生を楽しむ法。要申込。
主催のSalon des Arts 鎌倉（サロン・デ・ザール 鎌倉）は、10年以上続く「フランス語原書講読会」、絵画と詩と音楽の会「アート&ミューズ」、建築関係の「スコラ鎌倉セミナー」を統合して、11月1日に発足した。今後多方面にサロンの輪を広げていく。
事務局・宮口方☎045・507・4488
https://salon-des-arts.webnode.jp

鎌倉朝日歌壇

香山 静子 選

新聞を包むビニールの袋から零ひとすじ台風の朝　笛田 入野 裕江
日常のさりげない動作から生み出された作品。
暗き海より漁船は戻り極月の港に声のあがる早暁　片瀬 中村 喬
漁船の戻って来た明け方の賑わいが聞こえて来る。
土色の千曲川には赤黄のりんごのあまた流れゆくなり　逗子市 湊 美根子
土色、赤黄の具体によって現実味が加わった。
秋告げる金木犀の香も立たず神無月はや半ばとなりぬ　大船 小笹岐美子
たそがれの半寿の峠越えゆけば郷愁のおもひまた一つ湧く　辻堂 柳 蒼柳
どんぐりか枯れ葉かカサッと音のして振り向いて見る谷戸の坂道　城廻 塩田 文子
度々の嵐に柿は撓むとも秋の陽を浴び朱につやめく　葉山町 近藤美知子
冬の午後海面に光満ちあふれウインドサーファーすべりていけり　材木座 有野裕美子
台風の被害拡がり牛飼は廃業止むなしと表情もなく　藤沢市 三浦 和子
芝山を転がり転がり遊ぶ子ら秋の陽射しの瞳に輝きて　扇ガ谷 鈴木 久子
迷ひ人見つかりしとふ防災の放送きこゆ夕焼け空に　藤沢市 一色千穂子

鎌倉朝日俳壇

星野 高士 選

〈天〉鳶舞ふてしぐれをきそふ山辺かな　逗子市 塩谷あい子
どこまでも写生が行き届いている作品。とくに中七の発見が全体を引き締めてくれていた。
〈地〉大雨の処かまはず神の留守　本鵠沼 森田 順子
十一月は神様達は出雲へ旅をしているというのでこの季題の風情がある。大雨もそんな事を知ってのことか。
〈人〉花野来て花野を帰る女学生　藤沢市 一色千穂子
花野の繰返しの表現が適格に使われて動きがでた。
切手はる投句の葉書文化の日　城廻 小美野京子
文化の日にこう言った作品はうまく合っていた。
ハロウィーン役者もどきの身ごしらへ　金沢区 岩澤 正春
ハロウィーンは歳時記にないが先取りもよいと思う。
秋霖や古民家カフェの黒き梁　腰越 松原 薫
名詞だけの一句だが却って趣きのあるものになった。
秋風に髪を揺らして児の帰宅　今泉 小林万羊子
北条の滅びし跡も除夜の音が　梶原 吉田 健二
表札にペットの名前冬仕度　城廻 塩田 文子
この家に嫁ぎし幸や菊日和　笛田 上田 満喜
海鵜十羽並ぶ電線秋夕焼　植木 風見 玲子
筆弱き父の短冊秋の声　大船 添田 洋子
裏辻の石蕗の花咲く散歩路　手広 高口 道宏
友の忌やくぐる山門秋深し　岡本 鳴海 紀政
立冬に柔らかき影連れ歩む　藤沢市 三浦 和子
秋の雲懸かるのかはた取れるのか　材木座 羽賀 一男
柱時計振り子に映つる秋の影　川名 槇野あさ子
嵐去り悲しきままでの星月夜　片瀬 國安 佳子
読み終えて一人ぼっちの夜長かな　藤沢市 青木寿美子
石蕗の花庭に友来て旅話し　逗子市 佐藤 信子